

作成日 : 2011 年 2 月 21 日
改訂日 : 年 月 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 (商品名)	ホクサンダイアジノン粒剤 5
会社名	ホクサン株式会社
住所	〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4
担当部門	農業科学研究所
電話番号	011-370-2103
FAX 番号	011-370-2070
e-mail	gyoumuka@hokusan-kk.jp
緊急連絡先	営業部業務課
TEL	011-370-2333
推奨用途及び使用上の制限	農薬
整理番号	22634-0

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分 5
	急性毒性 (経皮)	区分外
	皮膚腐食性 / 刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 (慢性)	区分 2

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ

水生生物に有害

長期的影響により水生生物に毒性

重要な徴候

本剤は有機リン化合物であり、有機リン剤に共通の症状を示す。

注意書き

安全対策	子供の手の届かないところに置くこと。 使用前にラベルをよく読むこと。 必要な時以外は環境への放出を避けること。
応急措置	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 漏出物を回収すること。
保管	—
廃棄	内容物／容器を国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律・条令に従い廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
農薬の種類名	ダイアジノン粒剤
組成情報	
1) 一般名	0,0-ジエチル 0-2-イソプロピル-6-メチルピリミジン-4-イル ホスホロチオエート
化学名	ダイアジノン
含有量	5.0%
化審法	5-923
安衛法	8-(2)-458
CAS No.	333-41-5
2) 成分名	シリカ
含有量	2.8%
化審法	—
安衛法	—
CAS No.	112926-00-8
3) 成分名	炭酸カルシウム
含有量	91.4%
化審法	1-122
安衛法	—
CAS No.	471-34-1
4) 成分名	その他（営業秘密につき非公開）
含有量	0.8%
危険有害成分	ダイアジノン（劇物）

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 直ちに医師の処置を受ける。 多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをし、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぎ、多量の水または石鹸水でよく洗い落とす。 速やかに医師の手当てを受ける。
目に入った場合	清浄な水で15分以上洗眼する。医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。 速やかに医師の手当てを受ける。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報 応急処置をする者の保護 医師に対する特別注意事項	以下のような、有機リン剤に共通の症状を呈す。 瞳孔収縮、昏睡、痙攣、嘔吐、下痢、腹痛、流涎 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。 本剤は有機リン系のコリンエステラーゼ阻害剤である。 解毒剤としては硫酸アトロピン、2-PAM が有効とされている。
---	---

5. 火災時の措置

消火方法	噴霧水・泡消火剤・粉末ドライケミカル・炭酸ガス（適宜、状況に応じて使用する）
火災時の特定危険有害性	当該製品は分子中に窒素、リン、硫黄を含有しているため、燃焼ガスには硫黄酸化物系などの有害ガスが含まれる。消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する必要がある。
特定の消火方法	消火作業は、可能な限り風上から行う。 速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう適切な措置を行う。
消火を行うものの保護（保護具等）	消火に当たる者は、有毒ガスが発生するので呼吸保護具を着用する。 消火の際は適切な保護具（マスク、眼鏡、手袋）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 処理時には保護具（防毒マスク、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣）を着用し、吸入したり、手足、顔などに付着しないようにする。 本剤は海洋汚染物質である。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法	少量の場合：掃き集め、密閉容器に回収する。 大量の場合：粉塵が飛散しないように注意しながら、出来るだけ掃き集め、密閉容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い 技術的対策	炎、火花、もしくは高温体との接触または過熱を避ける。 取扱場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。 取り扱いは換気の良いところで行う。 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。 発散した粉塵を吸い込まないようにする。 休憩場所には、手洗い、洗顔などの設備を設け、取り扱い後に手などをよく洗う。 食品や飼料への混入を避けること。 指定された場所以外では、飲食、喫煙しないこと。 保護衣、保護眼鏡、保護手袋など、適切な保護具を着用する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。
注意事項	みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。

安全取扱注意事項	みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。
保管	
適切な保管条件	直射日光を避ける。 涼しく乾燥した場所に、密封して保管する。 食品、飼料と一緒に保管しないこと。 高温体、裸火のそばに保管しないこと。
安全な容器包装材料	基本的には製品容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置の設置または全体換気を適切に行うことが望ましい。 取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会（2002 年度版） 勧告値 ダイアジノン原体 0.1mg/m ³ ACGIH（2001） ダイアジノン原体 TLV:0.1mg/m ³ （時間加重平均、経皮吸収性）
保護具	呼吸用保護具：防塵マスク 手の保護具：ゴム手袋 皮膚及び身体の保護具：保護衣（長袖）、保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状	細粒
色	うすみどり色
臭い	わずかな硫黄のような臭気
pH	該当しない
物理的状態が変化する 特定の温度/温度範囲	データなし
引火点	なし
爆発特性	データなし
密度	1.5g/cm ³ （20℃）
溶解性	溶媒に対する溶解性：溶剤に不溶、水に不溶 オクタノール/水分配係数：log Pow = 3.42（ダイアジノン原体）

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件においては安定である。
反応性	酸性下では分解が速い。 アルカリ条件下では徐々に分解する。
避けるべき条件	酸、アルカリとの接触を避ける。 酸化剤との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	酸化物（ダイアゾクソン）

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット LD ₅₀ >2000mg/kg (♀) 経皮 ラット LD ₅₀ >2000mg/kg (♂♀)
皮膚刺激性	ウサギ 陰性 (3 日間) ウサギ 投与 24 時間後の観察で結膜に発赤が認められた (平均評点 1.3) が、48 時間及び 72 時間後の観察では角膜、虹彩及び結膜に刺激性の変化は認められなかった。
眼刺激性	
皮膚感作性	モルモット 陰性 (24 日間)
変異原性	ダイアジノン原体 復帰変異、染色体異常、小核誘発性：陰性 DNA 損傷：陽性
発がん性	陰性
催奇形性	陰性
生殖毒性	陰性

12. 環境影響情報

残留性/分解性	酸化分解または加水分解
生体毒性	
水生生物	コイ LC ₅₀ (96 時間) 283mg/L オオミジンコ EC ₅₀ (48 時間) 0.015mg/L 藻類 ErC ₅₀ (72 時間) 219mg/L
その他	Log Pow = 3.42 (ダイアジノン原体) ダイアジノン原体は鳥類、魚類、ミツバチに対して毒性を有する。しかし、ダイアジノン環境中で速やかに分解され、長期間の影響は引き起こさない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	下水道、いかなる水域、土地にも投棄してはならない。
汚染容器、包装	容器を 3 回洗浄し、つぶす。その際、環境や水の汚染を避けること。空容器を再利用してはならない。

14. 輸送上の注意

国際規制	
陸上：ADR/RID	クラス 9 PGIII
海上：IMDG コード	クラス 9 PGIII
航空：ICAO/IATA	クラス 9 PGIII
国連分類	クラス 9 (環境有害性物質)
国連番号	3077
国内規制	
陸上	非該当
海上輸送	船舶安全法、危険物船舶運送法及び貯蔵規則 第 3 条 有害性物質
航空輸送	航空法 航空法施行規則 第 194 条 その他の有害物件
輸送の特定の安全対策及び条件	容器が破損しないように、混載するときは注意すること。 取り扱い及び保管上の注意事項に留意する。

15. 適用法令

農薬取締法 労働安全衛生法	登録番号 第 10438 号 (3kg 包装)、第 22634 号 (20kg 包装) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (第 57 条の 2 第 1 項 施行 令第 18 条の 2 別表第 9) 政令番号 312 号 (シリカ)、政令番号 343 号 (ダイアジノン)
PRTR 法	第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)、政 令番号 248 号 (ダイアジノン)
環境基本法	水質要監視項目 (指針値 0.005mg/L) (ダイアジノン)

16. その他の情報

問い合わせ先	ホクサン株式会社 営業部業務課 北海道北広島市北の里 27 番地 4 TEL 011-370-2333
その他引用文献	農薬登録申請書

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の見取り表を対象にしたものであって、特別な見取り表をする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。